

第5回新宿区高齢者保健福祉推進協議会 【資料2】（新宿区高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画の進捗状況）
に関する委員意見と区の考え方

意見 No	項目	7/21 推進協議会 【資料2】 進捗状況一 覧表 頁	意見	区の考え方
1	施策1 支え合いの地域 づくりをすすめます	P1	見守りキーホルダーに関しては、数値目標無しで始めたが、思った以上に配布件数が増えたと聞いている。資料3のP26にも施策として継続の記載なので、備考欄に配布数などを入れたらどうか？	見守りキーホルダー事業については、平成30年9月に事業を開始し、令和元年度は1,523人の登録申請がありました。（事業開始後累計4,806人） 今後も、本事業の実施を通じて、高齢者の見守り体制のさらなる充実を図っていきます。
2	施策4 いきがいのある 暮らしへの支援	P4	いきがいのある暮らしには、役割ある暮らしのイメージを作れないか（行く用を作る）。	今後も、高齢者自身も担い手として主体的に参加する「地域支え合い活動」の推進や、高齢者の社会参加を促進するための講座の開催、高齢者クラブの支援等、高齢者のいきがいづくりのための施策に取り組んでいきます。
3	施策6 健康づくりと介 護予防の推進による健 康寿命の延伸	P5	オーラルフレイル対策を特出ししてはどうだろうか？	計画骨子案第3章第2節の今後の取組の方向性にオーラルフレイルの言葉を反映させ、オーラルフレイル予防に取り組んでいきます。
4	総合	—	コロナで大変ですね。良好な実施に敬服いたします。	各部署で、新型コロナウイルス対策にも取り組みながら、計画を推進しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で予定通りの実施が難しい事業もありますが、引き続き計画最終年度の目標達成に向けて施策を進めます。

意見 No	項目	7/21 推進協議会 【資料2】 進捗状況一 覧表 頁	意見	区の考え方
5	全体	—	<p>①数値目標がないと成果がわかりにくくなり、ただやったという事実だけになってしまうと思います。</p> <p>②自治会との連携・シニア活動館・地域交流館の登録者数より利用率はどうなっているのか？ご教示の程お願い申し上げます。</p> <p>③高齢者総合相談センターの周知度が低いのはエリアに1か所であるため遠いという事が挙げられると思います。地域センター・シニア活動館・地域交流館などにあなたのエリアの高齢者総合相談センターはここですので連絡して下さい、というチラシを置いてもらう（TEL番号・住所を大きく書き説明は書かない）。</p>	<p>①事業の目標値については、可能な限り数値化していますが、数値化にそぐわない事業は設定していません。</p> <p>②生活支援体制整備協議会には委員の中に自治会委員が入り、地域の情報について意見交換をしています。また、自治会・町会には社会福祉協議会や高齢者総合相談センターの生活支援コーディネーターが、地域支え合いの重要性を説明する等の連携をとっています。なお、シニア活動館等の利用率は算出していませんが、令和元年度のシニア活動館等計21館の延べ利用者数の合計は約26万人です。登録者は7,602人で、60歳以上の9.1%の方が登録し、ご利用いただいています。</p> <p>③高齢者総合相談センターの周知については、「こんにちは高齢者総合相談センターです！（地域包括支援センター）」のパンフレットに加えて、センター毎のチラシを作成し地域センター等の関係機関に配架するなど、力を入れているところです。今後もチラシ等を活用し、工夫しながら高齢者総合相談センターの周知度向上に取り組んでいきます。また、シニア活動館、地域交流館では、高齢者総合相談センターの出張相談を行うなど連携をとっています。</p>